

医師・研究者キャリア支援センター
活動報告書

自治医科大学

2016

はじめに

医師・研究者キャリア支援センター長 挨拶
小宮根真弓 皮膚科学 准教授



医師・研究者キャリア支援センターは、平成19年に、女性医師支援センターとしてスタートしました。平成24年度から、支援の対象を女性医師のみならず男女の医師・研究者に拡大し、現在の医師・研究者キャリア支援センターとして活動しています。

医師、研究者の方々が、より快適に仕事を続けていくことができるように、職場の環境改善を目指しています。定期的に職員へのアンケート調査を行い、職場環境改善に関するニーズを調査しています。臨床系、基礎系の先生方が親しく交流できるよう、次世代医師研究者交流会を年1回開いています。また、キャリア継続と家庭の両立について情報交換し、働きやすい職場づくりについて考える交流会として、**Jichi Joy Café**を年3回開催しています。さらに、ワークライフバランスやキャリア支援についての講演会を年1回開催しています。

これまで、主に子どもを持つ医師の支援を中心として、保育ルームの拡充に力を注いできました。その結果、マンツーマンでの保育が可能となっており、また通常の一時的託児のみでなく、平成22年には病児保育が、平成23年には夜間保育が可能となりました。子供の送迎や、自宅保育なども利用可能となっています。保育ルームではクリスマス会や納涼会を行い、子ども、親、保育士、サポーター間の交流とレクリエーションを図っています。また、お母さんお父さんのためのミニレクチャーなども開催しています。平成24年度以降は、全教職員が保育ルームを使用することが可能となっています。

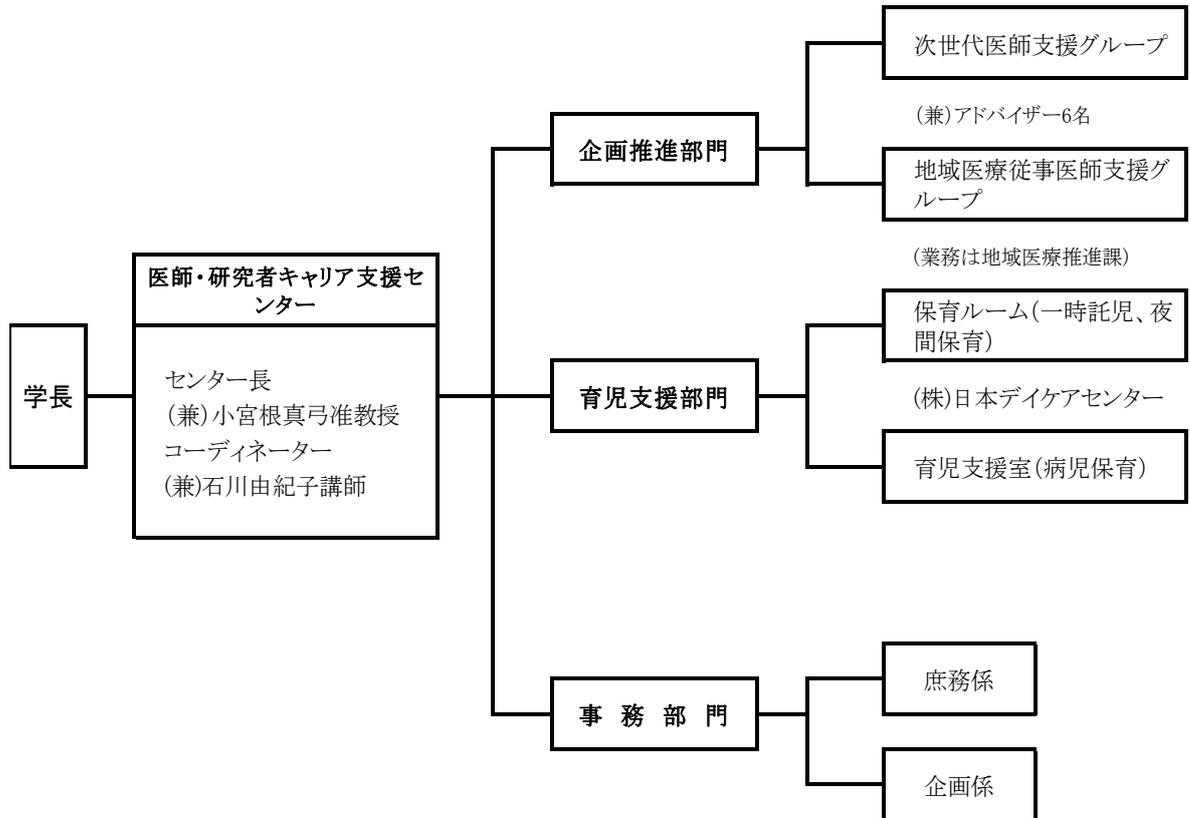
小学校就学の始期に達するまでの子を養育する医師が週20時間勤務で就業継続が可能となる自治医大独自の短時間勤務制度を制定し、その活用についても周知・広報にあたっています。アンケート調査などを行うことにより、制度は整っても実際には利用しにくい状況をなくすよう、努力しています。

職場や育児に関する悩みごとについては、個別に相談にのっています。最近はハラスメントと考えられるような事例もあり、ハラスメント相談室とも連携を深めています。

今後は、育児支援をさらに強化しつつ、介護などのその他のキャリア継続に影響を与えるであろうと思われるライフイベントに関する支援も検討していければと考えています。

今後も、より充実した支援体制・活動をめざしています。当センターを最大限に活用していただければ幸いです。

医師・研究者キャリア支援センター体制



スタッフの紹介

- ・ センター長 小宮根真弓 (皮膚科学准教授)
- ・ コーディネーター 石川由紀子 (地域医療学センター講師)
- ・ アドバイザー 山形 崇倫 (小児科学教授)
- ・ アドバイザー 黒須 洋 (抗加齢医学研究部准教授)
- ・ アドバイザー 小川 真規 (保健センター准教授)
- ・ アドバイザー 鴨下 信彦 (病態生化学講師)
- ・ アドバイザー 小形 幸代 (循環器内科学講師)
- ・ アドバイザー 川合 志奈 (小児泌尿器科病院助教)
- ・ 園 医 金井 孝裕 (小児科学准教授)
- ・ 園 長 上野 久子 (看護副部長)

次世代育成支援

医師・研究者キャリア支援センターでは、若手医師や研究者、大学院生間の交流を深め、多様なキャリア形成や研究を推進するために、若手医師・研究者の企画による「次世代医師・研究者交流会」を行っています。

ラボ見学ツアー及びポスター展示企画展の結果について

平成28年9月16日(金)10:00から11:00まで次世代医師・研究者交流会ラボ見学ツアーを12:00から18:30まで各講座の研究および研究機器等を紹介するポスター展示企画展が開催されました。

ラボ見学ツアーは人類遺伝学研究部、再生医学研究部、脳機能研究部門のご協力を得て開催されました。先生方のきめ細かいご説明に参加者皆さんが興味をそそられた様子でした。

また、引き続き12:00から開催されたポスター展示企画展は地域医療情報センターロビーで以下の部門が参加されました。

〈ポスター展示企画展参加部門〉

- 1 医師研究者キャリア支援センター
- 2 研究支援課
- 3 再生医学 幹細胞・創薬基盤研究部門
- 4 抗加齢医学研究部
- 5 構造生化学
- 6 脳機能研究部
- 7 基礎系大学院本務
- 8 皮膚科学
- 9 歯科口腔外科
- 10 細胞生物研究部
- 11 分子薬理学
- 12 統合病理学病理診断部
- 13 生物物理学
- 14 人類遺伝学研究部
- 15 炎症・免疫研究部
- 16 細菌学
- 17 人体病理学
- 18 医動物学
- 19 小児科学
- 20 神経脳生理学



キャリア支援交流会

次世代育成支援

若手医師や研究者、大学院生間の交流を深め、多様なキャリア形成を推進するために、若手医師・研究者の企画による「キャリア支援交流会(旧次世代医師・研究者交流会)」を行っています。講演や懇親会を通じて、学内の部門を超えた臨床と基礎を結ぶ新しい医療・医学研究の発展を目指します。

部門を超えた若手医師・研究者の交流を深め、キャリア形成を多めに語り合う(第1回) H22. 7.7	自治医科大学のこれから。新学長に聞く。学長とともに(第5回) H24. 8.21
つなげよう、基礎と臨床 基礎ナビ(第3回) H23. 7.22	話そう! 今、活躍する「次世代」のこれまでとこれから(第6回) H25. 2.19
「想い」を形にする力(第7回) H25. 7.2	わかりあうこと、サイエンスを広めよう(第10回) H27. 1.27
基礎と臨床の協力をめざして(第8回) H26. 2.28	

参加は自由です。ひとりでも多くの方々との交流の場となりますように、皆様のご参加をお待ちしています。

次世代医師・研究者交流会

ラボ見学ツアー及びポスター展示企画展



開催日時:平成28年9月16日(金) 10:00~18:30

(1) ラボ見学ツアー 10:00~11:00

見学先 ① 再生医学研究部 ② 脳機能研究部門

③ 人類遺伝学研究部

参加者を募集しますので、下記あてにご連絡下さい。

(2) ポスター展示企画展 12:00~18:30

参考:自治医大シンポジウム・大学院生ワークショップ
(ワークショップ12:30~15:00、ポスターセッション16:00~18:30)

と同日開催で会場前に展示予定

開催場所:地域医療情報研修センター(大会講室前ロビー)

ポスター展示内容:

- (1) 医師・研究者キャリア支援センターの活動を紹介
- (2) 臨床系・基礎系講座部門の研究並びに機器等の紹介

出展部門: 募集しますので、下記あてにご連絡下さい。

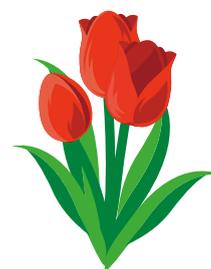
主催

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

<お問合せ・連絡先>

TEL:0285-58-7561 内線2448 FAX:0285-44-8627

e-mail: career-support@jichi.ac.jp



I ラボ見学ツアー(9/16(金)10:00~11:00)

1 人類遺伝学研究部

2 再生医学研究部



3 脳機能研究部門



II ポスター展示企画展(9/16(金)12:00~18:30)

大講堂前ラウンジ



次世代医師・研究者交流会 講演会

メインテーマ：今後の日本や世界の医療政策の動向を知ることや
世界に羽ばたくことの重要性

平成 29 年 2 月 14 日 (火) 17:30~19:00

自治医科大学医学部 教育研究棟 1 階・講堂



黒川 清 先生

日本医療政策機構代表理事、
政策研究大学院大学客員教授、
東京大学名誉教授

ご講演 17:40 ~18:55 (質疑応答 15 分を含む)

『Giving Back to You』

来れ、大学院生、学部生
若手医師・研究者！

開会挨拶 小宮根 真弓 センター長
学長挨拶 永井 良三 学長
閉会挨拶 猿田 清次 副学長
司会 高橋 将文

教員、研究者、医師・研修医、大学院生 (医学研究科、看護学研究科)、
医学部生、看護学部生、医療従事者 どなたでも参加できます。

懇親会: レストラン 西洋堂 (於) 19:00~20:15 (無料)

挨拶 佐田 尚宏 自治医大病院長、司会 阿部 朋行

黒川先生とお話したい方、留学や世界レベルのキャリア形成にご興味のある方、
是非ご参加下さい。

お問い合わせ先:

高橋 将文 (交流会世話人会代表) 内線 3361 email: mtaka@jichi.ac.jp

キャリア支援センター事務局(担当:久保田) 内線 2448 email: career-support@jichi.ac.jp



医師のキャリア

-今までとこれから-

黒川 清
東京大学名誉教授

2017年2月14日

自治医科大学キャリア支援センター

Books Top US University Students Required to Read

The Republic (4BC)	Plato
Leviathan (17C)	Thomas Hobbes
The Prince (16C)	Machiavelli
The Clash of the Civilizations (20C)	Samuel Huntington
The Element of Style (20C)	William Strunk
Ethics (4BC)	Aristotle
The Structure of Scientific Revolution (20C)	Thomas Kuhn
Democracy in America (19C)	Alexis de Tocqueville
The Communist Manifesto (19C)	Karl Marx
The Politics (4BC)	Aristotle

5つのM

Market
Management
Molecular Biology
Microchip/Media
Moral

1996年 東京大学最終講義、内科学会総会 黒川 清

医師のキャリア

-今までとこれから-

「何になりたいか」
から
「何をしたいのか」

NAIIC Core Message

‘Regulatory Capture’

George Stigler
Nobel laureate in Economics

黒川 清の推薦書

Ruth Benedict: 『菊と刀』 1948
丸山眞男: 『日本の思想』 1961
中根千恵: 『タテ社会の人間関係』 1967; 『タテ社会の力学』 1978(文庫版2009)
Karel van Wolffren: 『日本権力構造の謎』 1990、ほかの著書
Samuel Huntington: 『文明の衝突』 1996
Ivan Hall: 『知の鎖国』 1997
Eiko Ikegami: 『衆議と腐敗』 2001、The Taming of the Samurai, 1997
John Dowers: Embracing Defeat 『敗北を抱きしめて』 2000
Eiko Ikegami: Bonds of Civility 『美と礼節の絆』 2005
Richard Samuels: 3.11: Disaster and Change in Japan, 2013 (邦訳2016)
David Pilling: Bending Adversity: Japan and the Art of Survival, 2014 (邦訳2015)
R. Taggart Murphy: Japan and the Shackles of the Past, 2014 (邦訳2015)
Moises Naim: The End of Power, 2013 (邦訳2015)
Gillian Tett: The Silo Effect, 2015 (邦訳2016)
黒川 清: 規制の債: グループシングが日本を滅ぼす; 2016



「次世代医師・研究者交流会講演会」の開催について

若手医師や研究者、大学院生間の交流を深め、多様なキャリア形成や研究を推進するため、毎年度、講演会を実施している。平成 28 年度は、学内外の研究者による講演を今後の日本や世界の医療政策の動向を知ることや世界に羽ばたくことの重要性をテーマに下記のとおり実施した。

平成 29 年 2 月 14 日(火) 18:00~19:00 に
教育・研究棟 1 階講堂において、第 12 回次世代医師・研究者交流会講演会が開催されました。今回は、国際的にご活躍されている黒川清先生（日本医療政策機構代表理事、政策研究大学院大学客員教授、東京大学名誉教授）をお招きし、今後の日本や世界の医療

政策の動向を知ること、
世界に羽ばたくことの重要性をメインテーマとして『Giving Back to

You』と題しご講演頂きました。壇上にジャンプで登壇するという黒川先生の若々

しさに驚くとともに豊富な経験から得られた熱い思いのお話には大いに盛り上がりを見せました。

先生のご経験やご自身のキャリア形成、組織に囚われない生き方（日本の大学と海外の大学との制度の違い）や今直面している様々な医療問題、海外への留学やステップアップについても幅広くお話して頂きました。予定時間を超える大変エネルギッシュなご講演でした。

講演後行われた懇親会では、医学部学生や若手医師、教員の多数の参加があり、交流が深まりました。黒川先生の活動や様々な提言に対して、医学部学生等からも多くの質問がありました。日本と世界における医療や学生教育の違いや良さについて、参加者の視野や希望が広がっていくと、大学もさらに活性化していくのではと思いました。

講演を聴講した後のアンケート結果では、回答者から、絶えず行動すること、もっと社会を知る、留学する、やりたいことのために行動する、今一度日頃の行動を見直す、研究姿勢を見直す、自分でやりたいことを決めて突き進む、等ポジティブな意見が圧倒的でした。



就業継続支援・復職支援

1 平成 28 年度 アドバイザー等による相談受付

勤務継続支援に関する相談（6 件）を行った。

2 マタニティ白衣のレンタル

女性医師を対象に、妊娠中に使用するウエストが調節可能なコートタイプのマタニティ白衣のレンタル（無料）を行った。数年前から、半袖タイプ白衣を導入し、長袖Lを増やし、ニーズに応えられるようにしている。

3 J I C H I J O Y C A F E の実施

女性医師支援センター当時開催していたランチョンミーティングを、現センター活動の周知と教職員とした部署を超えた交流会としてコーヒブレイク・交流会として開催してきたが、今年度より新たに J i c h i J o y C a f e として名称変更し活動をしている。

4 ワークライフバランス講演会の開催

キャリア支援はどうあるべきか考えると題し、学内外から講師を招聘して、講演会及びデッスカッションを行っている。

平成 28 年 第 1 回 Jichi Joy Café

ワールドカフェ

日時：6 月 28 日（火）17:45～19:30

場所：医師・研究者キャリア支援センター内会議室
（自治医科大学 2 号館 2 階）

「明日の自治女性医師研究者への処方箋」

自治医科大学で働く医師・研究者のワークライフバランスについて話しませんか。

思いや悩みを共有し、またその解決方法が他の皆さんの参考になると考えました。
年 3 回を通して、皆さんの意見を生かした「明日の自治で働く女性医師研究者への処方箋」を作成します。
働きやすい職場にするための情報を集約し、皆様にフィードバックしたいと思います。
ご協力をお願いいたします。

 思いを伝え情報を共有し、アイデアをつなぎ合わせてみましょう 

タイムスケジュール (PM)

- 5:45～6:00 ①自己紹介つき名札用意
②ポストイットにテーマ「職場、家事、育児や家族、キャリア」にあったワークライフバランスについての悩みを記入
- 6:00～6:15 **その1** テーマを選択しグルーptーク
- 6:00～6:30 **その2** アイディアを出し合い改善策の検討
- 6:30～6:45 **まとめ**
- 6:45～7:30 **★フリータイム♪ お知り合いになりましょう♥**

軽食を準備いたしますので、お子さまも一緒にどうぞご参加下さい。
申込は 6 月 20 日（月）までにメールにて医師・研究者キャリア支援センター宛てご連絡下さい。託児を希望される方は 5 名様までお預かり可能です。

主催

自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター

〈お問合せ〉

TEL : 0285-58-7561 内線 2448 FAX : 0285-44-8627 e-mail : career-support@jichi.ac.jp

平成 28 年 6 月 28 日（火）17 時 45 分から 19 時 20 分まで、医師・研究者キャリア支援センター会議室において、平成 28 年度第 1 回 jichi Joy Café「ワールドカフェ」が「明日の自治女性医師への処方箋」と題して開催され、日頃の思いや悩みについて活発な話し合いが持たれました。

○ 開催内容 自治女性職員のワークライフバランスについて話しませんか。

具体的意見内容

(1) 職場環境

- ① 産前休暇を 8W にしてほしい。
- ② 会議を時間内にしてほしい。
- ③ 3 歳を超えての 30 時間勤務制度がほしい。
- ④ 人手に対して仕事量が多い。

時間内に仕事を終えるのが難しかったり、検査/手術の予定が先々まで延びてしまったりする。

(2) 家事

- ① ヘルパーさんに払っているお金の補助
- ② あいりすを土日開けてほしい。
- ③ 仕事で疲れて家事が疎かになりがち。
- ④ 自分の時間が取れない。（特に休日）

(3) 育児

- ① 長期休みの小学生高学年の昼ごはん等
- ② 子どもが「ママ」の時期で幼稚園に行きたがらない。

(4) キャリア

- ① 女性の特性が正しく評価されにくい。
- ② 子育てと仕事の両立が職場で理解が得られず、キャリアを諦めた。

(5) その他

- ① 保育園の送迎がギリギリでたまに怒られてしまう。

1 その他の意見

- ・もっと参加者が増えて交流できると良いと思う。
- ・意見を出し合って話し合うというスタイルだったので、思っていることを言いあえてよかった。
- ・職場環境改善への提言に向けて準備したいと思います。
- ・時間帯や場所ともに参加しやすいと感じた。
- ・雑談のような雰囲気で時間を過ごせたのが楽しかった。
- ・悩みはいろいろでできましたが、それをどう解決したらよいかアイデアがなかなかうかばなかったのですが、それでも子育てと仕事の両立に頑張っている先生方とお話しできて、悩みを抱えながらもなんとかなるかもしれないと安心できた。

第2回 JICHI JOY CAFE



日時：11月22日(火) 12:15~13:30
場所：医師・研究者キャリア支援センター内会議室
(自治医科大学2号館2階)

「女性医師・研究者の働き方」

自治医科大学で働く医師・研究者のワークライフバランスについて話しませんか。

年3回を通して皆さんの意見を生かした「明日の自治で働く女性医師研究者への処方箋」を作成します。
第1回目は初めての試みでしたが、9名の参加があり日頃の仕事と家庭の両立や育児の悩みなどをお話し頂き、まずは仲間づくりをすることが出来ました。
今回は2回目となります。初めて参加される方も大歓迎です。働きやすい職場にするためのアイデアを集約するため、ご協力お願いいたします。

参加対象：女性医師・研究者

話し合いのテーマ：女性医師・研究者の働き方

- Q1：あなたは仕事と生活のバランスをどのように取っていますか？
Q2：これからのキャリアをどのように考えていますか？
Q3：どのようにしたらより働きやすくなると思いますか？

☘ 一人で悩まず、思いをシェアし、一緒に考えることで
アイデアが生まれるかも知れません☘

昼食を準備いたします。
申込は11月18日(金)までにメールにて医師・研究者キャリア支援センターの担当
久保田、五十嵐までご連絡下さい。

主催

自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター

<お問合せ>

TEL：0285-58-7561 内線 2448 FAX：0285-44-8627 e-mail：career-support@jichi.ac.jp

1 内容

第2回 JICHI JOY CAFE 「女性医師・研究者の働き方」

自治医科大学で働く医師・研究者の
ワークライフバランスについて話しませんか

2016年11月22日(火)

医師・研究者キャリア支援センター
コーディネーター 石川由紀子

本日のメニュー

短い時間ですがどうぞランチを召し上がりながら
しゃべって、充電していきましょう。

- 「Jichi Joy Caféって？/自治女子NOW」(約5分)
コーディネーター 石川由紀子
- 「みんなどうしてる？」(5分ずつ)
自己紹介：所属、氏名、時間があったら今一番したいこと
どうやって働いてる？
より働きやすくするためにはどうしたらいい？
- 意見交換
- 総括 センター長 小宮根真弓

自治医科大学
医師・研究者キャリア支援センター
Center for Physician and Researcher Career Support

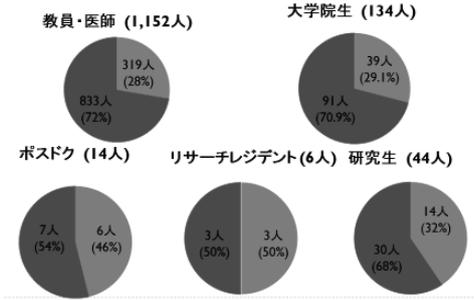


Jichi Joy Caféの今年のテーマ

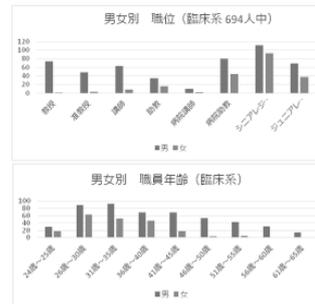
年3回を通して皆さんの意見を生かして作成します。
「明日の自治で働く女性医師研究者への処方箋」
⇒私たちの職場の改善に還元

- ・第1回目JJC (9名) ストーリー・思い
日頃の仕事と家庭の両立や育児の悩み
- ・第2回目JJC プロBLEM1
より働きやすくするためには
- ・第3回目JJC プロBLEM2
キャリア継続とキャリアアップのためには

Jichi女子Now 1. 職員男女比(28年11月現在)



Jichi女子Now 2: 医師・研究者の働き方



Jichi女子Now 3: 教員・医師の制度利用の状況

産休

みんなはどう思う？

働きやすさ・改善点 (循環器内科・小形先生)

- ▶ 働きやすさ
 - ・子供の突然の発熱、子供の行事に対応できる: 病児保育、託児所。代理の医師をたてられる
 - ・各分野の専門家が身近にいる: 最新の情報を入手しやすい
 - ・女性医師の絶対数が多い: 働く女性の環境作りに積極的
- ▶ より働きやすくするためには
 - ・カンファレンス、医局会、必須の講義を勤務時間内に開催
 - ・時間外労働をできるだけ減らす (業務の分担などの工夫)
 - ・非常勤医師(有給)の枠を増やす

みんなどうしてる？

臨床系女性医師の人数と時短勤務者の働き方

循環器内科 常勤 5名(2名派遣中) 非常勤 2名
短時間勤務 2名(大学2.5日/週+外勤0.5日/週)

月	火	水	木	金

皆さんの働く場所ではいかがですか？

- 自己紹介: お名前、所属、
時間があったら今一番したいこと
- ・現在の働き方
 - ・今の職場の働きやすさについて
 - ・より働きやすくするためには？

参加者みなさまが発言できますよう5分程度でお願いします。

御意見ご記入をお願いいたします。
あとで学内便での提出でも結構です

2 参加者ご意見

(1) 全体について

- ① フレックス制度があればよい。
- ② 在宅勤務ができればよい。
- ③ 頑張り屋の女性が多くて、自分が心配というか、自信が無くなった。
- ④ とても楽しく参加させていただきました。働く環境が様々でお子さんの年齢で悩みが変わり、勉強になりました。ありがとうございました。
- ⑤ 医師と研究者で待遇が違う事にびっくりしました。

(2) あなたは仕事と生活のバランスをどのように取っていますか？

- ① 子育てより研究が楽しくて仕方がない。
- ② 基礎系の先生の育児支援制度が医師と異なる事を初めて知りました。
- ③ 大学院に入るときに、周知するシステムがあるといいと思いました。
- ④ どなたも大変だけど、過ぎると楽しそうにお話しされるなあと思いました。その時その時で柔軟に、できることを頑張らないといけないと思いました。

第3回 Jichi Joy Café



日時：平成29年3月10日(金) 12:15~13:30
場所：医師・研究者キャリア支援センター内会議室
(自治医科大学2号館2階)

「自治医大女性医師・研究者のキャリアって？」

年3回を通して皆さんの意見を生かした「明日の自治で働く女性医師・研究者への処方箋」を作成します。
今回は、当学の女性管理職の先生にキャリアアップの道のりについてお話いただきます。また、フリートークタイムにて皆さんのキャリアに関する思いや悩みなどのお話を伺いたいと思います。働きやすい職場にするためのアイデアを集約するため、皆様のご参加によるご協力をお願いいたします。

第1回目は「自治のワークライフバランスについて話しませんか」と題して思いや悩みの共有をいたしました。第2回目は「女性医師・研究者の働き方」と題してそれぞれの職場での状況が紹介されました。

参加対象：医師・研究者(男女は問いません。) **初めて参加される方も大歓迎です。**
内容

- ☛ 自己紹介
- ☛ 女性医師・研究者の働く環境に関するアンケート案の提示
- ☛ 大学病院における女性医師・研究者のキャリアについて

解剖学講座 解剖学部門 教授 野田泰子先生

皮膚科学教室 准教授 小宮根真弓先生

☛ フリートーク

一人で悩まず、思いをシェアし、一緒に考えることで
アイデアが生まれるかも知れません

昼食を準備いたします。申込は3月7日(火)までにメールにて医師・研究者
キャリア支援センターの担当 久保までご連絡下さい。

主催

自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター

<お問合せ>

TEL: 0285-58-7561 内線 2448 FAX: 0285-44-9627 e-mail: career-support@jichi.ac.jp

第3回 Jichi Joy Café の結果について

第3回 Jichi Joy Café が平成29年3月10日(金)12:15分から13時30分まで2号館2階の医師・研究者キャリア支援センター会議室において「自治医大女性医師・研究者のキャリアって？」と題して開催されました。

初めに女性医師・研究者の働く環境に関するアンケート(案)の提示ということで精神科の加藤梨佳先生とコーディネーターの石川由紀子先生から説明がありました。

次に自己紹介では 教員、病院本務医師、シニアレジデント、リサーチレジデント、大学院生、医学生と総勢18名より様々な立場からの紹介がありました。最後に解剖学部門教授の野田泰子先生及び小宮根センター長より、大学病院における女性医師・研究者のキャリアについてご講演があり、参加者皆様から多くのご意見が出され、活発な情報交換が出来ました。

皆様大変お疲れ様でした。今後皆様の貴重なご意見を集約できるように引き続き活動を続けていきたいと思っております。

記

医師・研究者キャリア支援センター
による
アンケート調査の実施について(案)

計画1：就労継続のための要因調査

説明者：精神科 加藤先生

計画2：女性研究者の出産・育児支援のニーズ調査

説明者：コーディネーター石川

計画1：就労継続の要因

就労継続や生活満足度・健康状態に影響を与える
要因等を調べ、働きやすい職場作りに役立てる



2017年度に当センターでアンケート調査を実施予定



学内に公表・組織への働きかけの実施
学会/論文発表等の実施

計画2:女性研究者と出産・育児支援

自治医大女性研究者
出産・育児時の研究継続困難
(2016年第2回Jichi Joy Cafeより)



現状把握 ニーズの調査

アンケート調査2 (予定)

- ・対象者：女性研究者
- ・アンケート内容：
 - ・職種
 - ・勤務継続年数、育児の経験の有無
 - ・どんな困難があったか
 - ・必要なサポートの内容

アンケート調査1 (予定)

- ・対象者：全医師・研究者
- ・アンケート内容：
 - ・属性
 - ・就労関連要因 (就労内容・就労継続年数・就労継続意思等)
 - ・健康状態
 - ・生活 (家庭・就労) 満足度
 - ・上記に影響を与える要因内容

これまで

自治医科大学医学部解剖学部門
野田泰子

現状

- ・一応、東京在住
- ・週日単身赴任

- ・解剖学実習、発生学、神経解剖学
- ・学生生活支援センター副センター長
- ・教務委員長

気をつけていること

- ・できることは自分でする、手を抜かない
- ・こども>仕事
- ・困っている人の世話をやく、人に優しく
- ・いばらない
- ・メンツにこだわらない
- ・会いに行って直接話す
- ・誰のものでもない仕事は自分の仕事

最後にアドバイス？

- ・社会とつながっている
- ・パートナーを選ぶなら、
 - ・与えられた場所でベストを尽くす
 - ・周りにはちゃんと見ている

キャリアの転機

- ・臨床医から大学院生へ

振り返っておもうこと

- ・柔軟にその場その場で社会とのつながりを探る
- ・得られる支援を大切に
- ・主婦はバッファー：突然の事件担当係
- ・切り抜けるほどマルチに

女性の特性 (メリット) ?

- ・変だと思える
- ・人と違って女性だからと試してみてもらえる
- ・同時進行に慣れている
- ・現実路線、現場優先
- ・人が喜ぶとうれしい

自治医科大学 ワークライフバランス講演会

メインテーマ 「豊かな人生はあなたの心の中に」
 日時：平成28年9月24日（土） 14:00~16:30
 場所：自治医科大学 地域医療情報研修センター中講堂



医療人として女性も男性も輝き続けるために、自己実現と社会貢献について考え、大切にすべき価値観を見つめ直しませんか？

奥様が医師でイクメンの先駆け

今回は素晴らしいご活躍により、メディアでも多く取り上げられたお二人をお招きしました。滅多にない機会ですので、多くの学生・職員のご参加をお待ちしています



日本の地域医療へ従事された後、医療に恵まれないアフリカの辺地で医療奉仕活動を実践

司会・開会挨拶 小宮根真弓 センター長

講演Ⅰ「現在取り組み中のワークライフバランス」
 徳倉康之先生
 ((株)ファミリーエ 代表取締役・NPO法人ファザリング・ジャパン理事

講演Ⅱ「ザンビアでの辺地巡回診療活動までの道のり」
 山元香代子先生 宮崎3期卒医
 (認定特定非営利法人ザンビアの辺地医療を支援する会副理事長)

パネルディスカッション
 座長：小宮根真弓センター長
 パネリスト：徳倉康之先生 山元香代子先生 佐田尚宏病院長
 小形幸代先生(循環器内科学講師) 手塚雄大さん(医学部4年)

閉会挨拶 養田清次 副学長

懇親会 レストラン「西洋堂」 16:35~18:00

主催：自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター
 <お問合せ>
 TEL: 0285-58-7561 内線2448 FAX: 0285-44-8627 e-mail: career-support@ichi.ac.jp

自治医科大学ワークライフバランス講演会
 ~現在取り組み中のワークライフバランス~



株式会社 ファミリーエ代表取締役
 NPO法人ファザリング・ジャパン理事
 徳倉 康之
 2016年9月24日

イクボス十か条

- 1) 性別：親代の子育て事情を知り、部下がライフ(子育て・介護等)に時間を割くことに理解を示していること。
- 2) タイムゾーン：上司(子育て・介護等)に時間を割いている部下を、差別(冷遇)せず、ダイバーシティを認識していること。
- 3) 組織：ライフ(子育て・介護等)のための社内制度(育休制度など)や法策(労基法など)を、知っていること。
- 4) 組織浸透：情報している組織(例えば部長なら部全体)に、ライフ(子育て・介護等)を経験せず経験的にワークライフバランスを認識し実践していること。
- 5) 意識：監督(部長主任など、部下のライフ(子育て・介護等)に大きく影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること。

ザンビアの地図



2016/04/24

ザンビアの保健指標の推移

	2000年	2013年	2015年
平均寿命	43歳		61歳
乳児死亡率*	99	56	
5歳未満児死亡率*	163		64

World Health Statisticsによる
 * Probability of dying per 1000 live births

ワークライフバランスとワークライフコンフリクト (1/2)

ワークライフバランス
 社員が仕事上の責任を果たせると同時に、仕事以外の生活で取り組みたいことや取り組む必要があることに取り組めること

ワークライフコンフリクト
 (1) 会社や上司から期待されている仕事あるいは自分自身が納得できる仕事をしようとすると、仕事以外でやりたいことや取り組まなければならないことができないこと
 (2) 仕事以外のやりたいことや取り組まなくてはならないことをすると、会社や上司から求められている仕事あるいは自分自身が納得できる仕事ができないこと

イクボス十か条

- 6) 業務改善：育休・介護取得者などが出ても、組織内の業務が滞りなく進むために、組織内の情報共有や、チームワークの醸成、取次ぎのツラクワなど可能な手段を講じていること。
- 7) 時間抽出：部下がライフ(子育て・介護等)の時間を取りやすいよう、会議の効率化、書類の削減、意思決定の迅速化、裁量型体制などを進めていること。
- 8) 投資：役員・経営者や人事部長などに対し、部下のライフ(子育て・介護等)を重視した経営をするよう、提言していること。
- 9) 発言促進：「イノベーターの組織や企業は業績も向上する」といってを奨励し、社内に伝えていること。
- 10) 横より物上り：横次からワークライフ(仕事と生活の両立)を重視し、人生を楽しんでいること。

ザンビアの地図



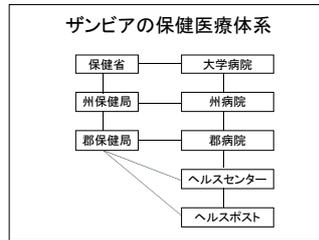
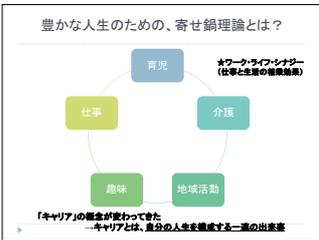

ワークライフバランスとワークライフコンフリクト (2/2)

ワークライフコンフリクトの状態にある社員は、仕事に意欲的に取り組めなくなる

社員がワークライフコンフリクトに陥らないようになり、最適な場合はその解消を促すことが人材活用課題

ワークライフバランス支援

社員がワークライフバランスを実現できるように仕事管理や働き方の見直し、職場環境の整備を行うこと。



ワークライフバランス講演会の開催について

平成 28 年 9 月 24 日（土）14 時から 16 時半まで「豊かな人生はあなたの心の中にある」をメインテーマとして地域医療研修センター中講堂において、約 70 名（教職員、医学生、看護学生、医学部卒業生、看護学部卒業生）を対象に開催しました。

初めに、小宮根センター長のご挨拶にはじまり、最初に、徳倉康之先生「(株) ファミリーリエ 代表取締役・NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事」から「現在取り組み中のワークライフバランス」と題して講演がありました。

次に、山元香代子先生「(宮崎 3 期卒医) 認定特定非営利法人ザンビアの辺地医療を支援する会副理事長」から「ザンビアでの辺地巡回診療活動までの道のり」と題して講演がありました。

その後引き続き、座長を小宮根センター長、パネリストとして徳倉先生、山元先生、佐田尚弘病院長、小形幸代先生（自治医大卒 茨城 21 期、循環器内科）、手塚雄大君（自治医大医学部 4 年生）が参加して行われ、活発な意見交換があり、最後に簗田副学長の閉会のご挨拶で講演会を閉会としました。

全体を通して、講演後行われたアンケート結果では、多くの参加者から、非常に心に響いたとの意見が寄せられました。



育児支援

1 医学部学生見学会

学生に対して、保育ルームの見学、保育の状況について説明を行いました。5月24日、25日の2日間実施し、医学部1年生合計40名の参加がありました。



2 First Aid (応急措置講習会)

保育ルームにかかわる、保育サポーター、保育士等を対象にメディカルシミュレーションセンター教員による講習会を6月23日、24日に実施しました。



3 BLS（救急蘇生法）研修会

保育サポーター、保育士等を対象にメディカルシミュレーションセンター教員による講習会を10月17日、11月7日、10日、11日に4回に分けて実施しました。



3 育児支援講演会 「パパとママの食事のはなし」

10月13日、臨床栄養部栄養管理室長 佐藤敏子先生から、保育ルーム利用会員を対象に、「幼児の食事を見直してみましよう」をテーマに講演会を実施しました。



- 5 育児支援講演会 「小児科医からパパ・ママに伝えたいこと」
平成 29 年 2 月 8 日、小児科 金井孝裕准教授（保育ルーム「あいりす」
園医）が、緊急時の症状判断や対処方法について講演を行いました。



- 6 夕涼み会
8 月 5 日 保育ルーム「あいりす」で夕涼み会を開催しました。
当日は、29 家族 108 名（スタッフ含む）の参加がありました。



- 7 クリスマス会
12 月 22 日 保育ルーム「あいりす」でクリスマス会を開催しました。
当日は、15 家族 50 名（ボランティア含む）の参加がありました。

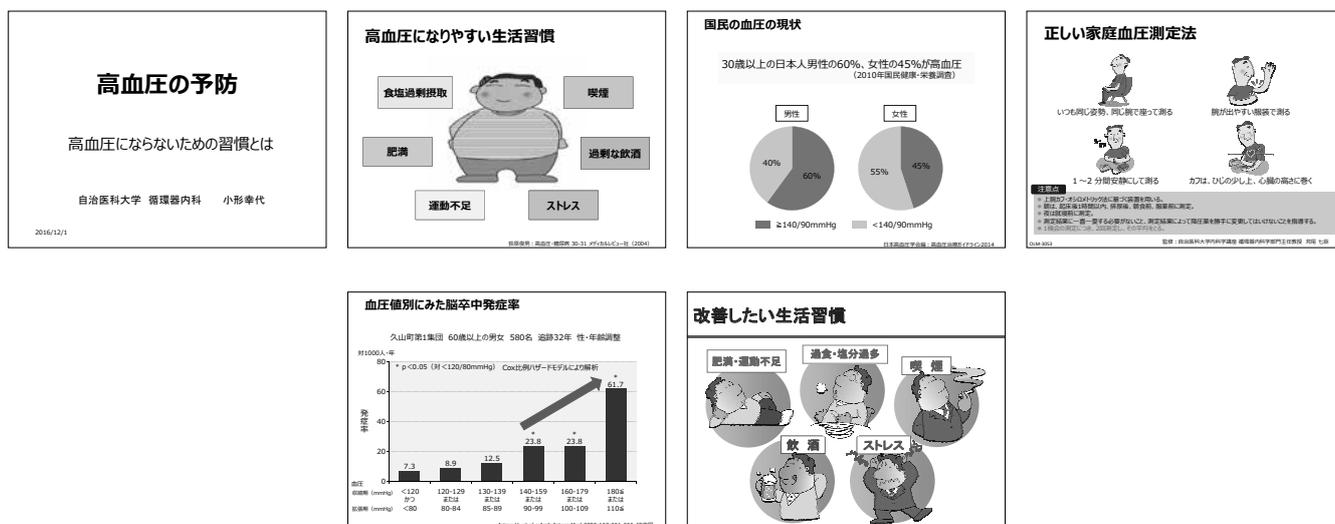


8 保育サポート会員懇親会

この懇親会は、当センター主催で毎年1回開催しています。

平成28年12月1日、保育サポート会員とセンター教職員との交流を深めるため、会議室において「サポート会員懇親会」が開催されました。

今回は、心と体の健康の保持の情報提供として、当センターアドバイザーである小形幸代先生（循環器内科 講師）から、「高血圧の予防～高血圧にならないための習慣とは」と題して講話がありました。その後、昼食をとりながら、近況報告や情報交換等を行い、懇親を深めました。当日は22名の保育サポート会員の参加がありました。



地域医療従事医師支援

地域医療従事医師支援は、女性卒業生支援として地域医療推進課を窓口として実施しています。卒業指導委員会では、出産・育児と勤務を両立しながら円滑に義務年限を果たしてもらうことを目的として女性支援事業に取り組んでいます。

平成24年度からは、「卒業ワークライフバランス（卒業後の勤務と結婚・出産・育児との調和）」について考えることを目的に、学外から講師（卒業生）を招聘し、講演会と懇親会を適時開催しています。

平成28年6月19日（日）、午前10時から医学部学生寮ラウンジにおいて、卒業ワークライフバランスを考える会2016 in jichi が開催されました。

今回は、「キャリア in the future」をテーマに、本学卒業生の東條環樹先生（広島県20期：北広島町雄鹿原診療所勤務）、松岡順子先生（福岡県29期：東京都健康長寿医療センター勤務）、三ツ波真紀子先生（滋賀県31期：山王病院勤務）を招聘し、講演いただきました。

会場には、教職員、医学部学生などが多数参加し、卒業生の発表を熱心に聴講していました。

附属病院事業

平成28年11月14日（月）、医師・研究者キャリア支援 小宮根真弓センター長が、「子育てに対する悩みや不安を抱える若い世代の親が増加しているなか、やがて親となる生徒たちが、子育てにかかわる様々な問題点を理解し、安心して子どもを育てるために必要な環境・制度・対策について考える機会とする」を目的に、栃木県立今市高等学校で、キャリア形成支援事業講演会を実施しました。

なお、この講演会は同校の第1年次の「産業社会と人間」の授業の一環として実施されました。

「産業社会と人間」・実施日程

キャリア形成支援事業

平成28年11月14日（月）

- 目的 子育てに対する悩みや不安を抱える若い世代の親が増加しているなか、やがて親となる生徒たちが、子育てにかかわる様々な問題点を理解し、安心して子供を育てるために必要な環境・制度・対策について考える機会とする。
- 場所 栃木県立今市高等学校 第1体育館
【栃木県日光市千本木432】
- 日程 平成28年11月14日（月） 7時限目
 - 14:50~15:00 第1体育館会場準備
第1体育館入場（生徒は椅子持参）
 - 15:00~16:00 校長挨拶ならびに講師紹介
キャリア形成支援事業 講演会
自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター
センター長 小宮根 真弓 皮膚科学准教授
 - 16:00~ 講師退場
生徒退場・第1体育館会場後片付け
- 用意する物 産社ファイル・筆記用具・体育館シューズ・貴重品

男女共同参画
と
地域における子育て

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター
小宮根真弓

子育ては女性の役割か？

- ・男性は外で仕事、女性は家庭で子育て？

↓

- ・男性も女性も外で仕事、子育ても男女で。

働き手の減少、残った人への負担増える

The diagram shows two groups of human figures. The left group has 10 figures, and the right group has 5 figures. An arrow points from the left group to the right group, indicating a reduction in the number of workers and an increase in the burden on the remaining workers.

イクメンパパ

- ・育児をする男性はカッコいい。
- ・育児をすることで仕事も効率アップ。
- ・育児は楽しい。
- ・育児は人生の貴重な体験。

The graph shows a line chart with data points and a trend line. The x-axis represents years from 2010 to 2020, and the y-axis represents a percentage or index. The chart shows a general upward trend with some fluctuations, peaking around 2015-2016 before declining slightly.

家におじいさん・おばあさんがいない、となり近所にすむ人との交流がない。親戚が近くにいない。

↓

子どもを預ける施設が必要。

News Letter 医師・研究者キャリア支援センター

Vol. 21 2016/4/27

○医師・研究者キャリア支援センターセンター長就任

センター長 小宮根 真弓



平成28年4月1日付で医師・研究者キャリア支援センター長を拝命いたしました。

医師・研究者キャリア支援センターは、次世代育成支援の一環として、これまでも、次世代医師・研究者交流会、キャリア支援講演会やコーヒープレイク交流会を定期的に開催し、より働きやすい職場づくりを目指してきました。本年度は、コーヒープレイク交流会はJichi Joy Cafeと改名して、多くの先生方に参加しやすいよう工夫していく予定です。また、9月24日に開催予定のワークライフバランス講演会では、ファザーリングジャパンの徳倉氏、自治医科大学卒業生でガンビアの地域医療に力を注いでいらっしゃる山元先生をお招きしています。次世代医師・研究者交流会にも、魅力ある演者の方をお招きする予定です。是非多くの先生方に参加していただきたいと思います。また、昨年より、自治医科大学と卒業臨床研修センターの協力を得て、All Jichi Projectを開催させていただいております。今年度も2回ほど開催したいと考えております。All Jichi Projectは、診療科を超えた人間関係を築いていくなかで、また日頃の業務についての不満、あるいは建設的なご意見を気軽に発言していただける場として、多くの先生方に是非ご利用いただければと考えております。

育成支援としての保育ルーム「あいらす」については、多くの教職員の方々にご利用いただいて大変嬉しく思っております。現在、一時託児、病児保育は、マンツーマン体制で対応し、夜間保育も可能となっております。また、ご自宅などでのルーム外保育や送迎サービスも行っています。今後ともさらには機能の充実を図り、より利用しやすい保育ルームを目指していきたいと考えております。

また、継続支援・復職支援としては、教職員の方々がキャリア継続上の問題を抱えた場合には、いつでも相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談いただけます。今後とも、医師・研究者キャリア支援センターに対して教職員の方々のお力添えを是非ともよろしくお願い申し上げます。



○協栄会様より頂きました。 保育ルーム「あいらす」スタッフ一同

年末に協栄会様より頂きました。大切にさせていただきます。ありがとうございます。お子様も大変喜んでおります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



- ・モダン布団タンス
- ・座布団カバーと座布団中身のセット
- ・カンオ 電波時計
- ・DORAEMON THE MOVIE BOX [DVD]

○自治医科大学行動計画 事務

●平成27年4月から平成33年3月31日まで 事務局長 平成27年3月31日

- 目標1: 働きやすい環境を整備する。
- 目標2: ワーク・ライフ・バランスに向けた措置の実施。
- 目標3: 男性教職員の育児休業の取得の促進を図る。
- 目標4: 出産・育児に関する各種法令に基づく諸制度について周知徹底を図る。

この行動計画は、次世代育成支援政策推進法により、一般事業主に作成が義務付けられているものである。

行動計画の目標1では、「働きやすい環境を整備する」ことを定め、その対策の②では、事業所内保育施設の整備として、「医師・研究者キャリア支援センターの保育ルームの環境改善を行う」として行っています。

行動計画により、保育ルーム「あいらす」病児保育室の感染リスクを改善するため、この度、トイレ・手洗いが完成致しました。先に完成の断熱床とともに病児保育室の環境が格段に改善しました。

●平成28年4月1日から平成33年3月31日まで 事務局長 平成28年3月31日

- 目標 教員・医師における男性の平均継続勤務年数に対する女性の平均継続勤務年数の割合を80%以上とする。
- 取組内容 平成29年4月～子育てや介護に配慮した働きやすい環境となるよう、看護休暇及び介護休暇を1時間単位で取得できる制度を確立する。

「女性活躍推進法」に基づき、行動計画を策定しました。

○今後の予定

○ワークライフバランス講演会

メインテーマ:「豊かな人生はあなたの心の中にある」
日時:平成28年9月24日(土)講演会14:00～懇親会17:30
会場:自治医科大学地域医療情報研修センター中講堂
演者:山元香代子先生「ガンビアでの辺地巡回診療活動までの道のり」
徳倉康之先生「現在取り組中のワークライフバランス」

○第12回男女共同参画フォーラム

メインテーマ:「男女共同参画が医療界にもたらすメリットとそのエビデンス」
日時:平成28年7月30日(土)7:00～16:45 懇親会17:30～7:00
場所:新日本東日本宇都宮 主催:日本医師会
積極的な参加が地域における自治医大の価値に繋がります。教職員・医学生・看護学生の皆さんには富ってご参加下さい。



○保育ルーム「あいらす」園長就任

園長 上野 久子



平成28年4月に保育ルーム「あいらす」園長に就任しました。

保育ルーム「あいらす」は、育児支援部門として、自治医科大学に勤務する教職員の皆様のキャリア支援、就労支援を目的に運営しています。当保育ルームを利用されるお子さんが安心して時間を過ごせるように、保育士、看護師、保育サポーターが連携して保育にあたり、仕事と育児の両立を支援する身近な存在として、よりよい保育を提供できるように今後とも努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

医師・研究者キャリア支援センター 内線2448 保育ルーム「あいらす」内線2445
Email:career-support@jichi.ac.jp (直) 0285-58-7572

News Letter 医師・研究者キャリア支援センター

2016.5～2016.8 (Vol. 22, 2016/8/20 発行)

○医学部学生が保育ルーム「あいらす」を見学

保育ルーム「あいらす」



医学部学生40名が平成28年5月24日(火)、25日(金)16:30から青山泰子社会学准教授の指導の下、「地域福祉と社会学」の授業で保育ルーム「あいらす」を見学されました。

○ファースト・エイド(応急措置)講習会を開催しました。

育児支援部門



6月23日(木)・24日(金)10:00～12:00 医師・研究者キャリア支援センター会議室においてシミュレーションセンターの淺田先生を講師として、熱中症や日焼け等の対応、エビデンの使用法などをお話いただきました。新規のサポーター会員と希望者の方たちの参加でしたが、「子供たちをサポートするうえでとても参考になった。」とのコメントをいただきました。何度も起こることでありませんが、知識があるのとないのでは対処の仕方も変わってきます。いざという時に役に立つ知識を得ることはとても大切であると感じました。

○「サポート会員交流会」が開催されました。

保育ルーム「あいらす」



6月24日(金)12:00～13:30に毎年恒例の「サポート会員交流会」を開催いたしました。

当日は、サポート会員25名とコーディネーターの石川由紀子先生をはじめスタッフ11名、(株)日本デイケアセンター本社エリアマネージャー2名の総勢39名が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。サポート会員の皆様への日頃の感謝の気持ちを込めた「昼食会」や「自己紹介」では、サポート会員同士での交流を深めていただいたり、保育ルーム「あいらす」からのサポート活動や防災訓練の実施訓練にご協力いただきました。

また、最後には、8月5日(金)に行われる「夕涼み会」に向けて製作物のお手伝いをしていただき、楽しい笑顔の映りかたで会が終了いたしました。お忙しい中、たくさんのサポート会員の方々に参加いただきましてありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(保育ルーム「あいらす」保育士)

○「Jichi Joy Cafe」が開催されました。

企画推進部門



平成28年6月28日(火)17:45から19:20まで、2号館2階の医師・研究者キャリア支援センター会議室において平成28年度第1回「Jichi Joy Cafe ワールドカフェ」が『明日の自治医大医師・研究者への処方箋』と題して開催されました。女性医師・研究者の持つ日頃の思いや悩みについて活発な話し合いが持たれました。

○「第12回男女共同参画フォーラム」が開催されました。

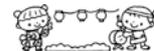
企画推進部門



平成28年7月30日(土)ホテル東日本宇都宮3階「大和」において第12回男女共同参画フォーラムが日本医師会主催、栃木県医師会担当で参加者400名規模で開催されました。初めに横山日本医師会会長のご挨拶から始まり福田栃木県知事の来賓あいさつ後の、基調講演、シンポジウム討論会が行われました。本学からは佐田病院院長がシンポジウムのコーディネーターとして、小宮根医師・研究者キャリア支援センター長が栃木県医師会男女共同参画委員会副委員長としてフォーラム宣言採択に役関わるなど盛況のうちに閉幕いたしました。

○夕涼み会が開催されました。

保育ルーム「あいらす」



8月5日(金)17:00～18:30 毎年恒例の夕涼み会を小宮根センター長にもご参加いただき保育ルーム「あいらす」にて開催いたしました。当日は29家族・ボランティア、スタッフを含め総勢108名の方々が参加くださり、連日の猛暑にもかかわらず、ルームでは子供たちの歓声が響き渡り、親子共々暑さを吹き飛ばし大いに楽しんでいただきました。

今回は初の試みのお神楽! みんなで、『わっしょい・わっしょい』ととても賑やかでした。写真コーナーでは、パパ・ママと一緒にパチリ。童心に戻って素敵な写真が撮れました。くじ引き・乳児コーナー・バスケットボール投げ・ワニたたき・カメのバランスゲーム、体を使ったゲームもあり子供たちはそれぞれ思い思いに楽しんでいました。また、保育士によるパネリアター、ボランティアさんによるマジックショー。お土産にもお面・お菓子・ジュースに水風船をもらい、とても楽しんでいました。また来年も楽しい企画を用意して待っています。ご参加お待ちしております。



現在、保育ルーム「あいらす」では利用登録会員が151名(お子さま数227名)と大変多くのみなさんにご利用いただいております。

ご利用内容も大変多様化しており、学生サポート会員の活躍できるケース(18時以降の小学生のルームサポート、イベントの制作物のお手伝い等)が多々あります。お時間に都合のつく方、是非「学生サポート会員」に登録をしてみませんか?

○今後の予定(平成28年中)

- 平成28年9月16日 次世代医師・研究者交流会(ラボ見学ツアー及びポスター展示企画展)(研修センター大会館室にて)
- 平成28年9月24日 自治医科大学ワークライフバランス講演会(研修センター中講室にて)
- 平成28年10月13日 パパ・ママと子どもの食事はなし
- 平成28年10月17日、11月7日、10日 救急衛生法(BLS)
- 平成28年11月 オール自治プロジェクト
- 平成28年12月 サポート会員懇話会
- 平成28年12月25日 クリスマス会



医師・研究者キャリア支援センター 内線2448
保育ルーム「あいらす」 内線2445
Email:career-support@jichi.ac.jp
(直) 0285-58-7572



次世代医師・研究者交流会 次世代育成支援グループ
～ ラボ見学ツアー及びポスター展示企画展 ～

9月16日(金)午前中に次世代医師・研究者交流会ラボ見学ツアー、午後には各講座の研究や研究機器等を紹介するポスター展示企画展が開催されました。ラボ見学ツアーは人類遺伝学研究所、再生医学研究所、脳機能研究部門のご協力を得て開催され、先生方のきめ細かいご説明に、参加された皆さんはとて興味深いご様子でした。ポスター展示企画展は地域医療情報センターロビーで以下の部門が参加されました。ご協力下さった皆様方ありがとうございます。



参加部門：研究支援課、再生医学 幹細胞・創薬基盤研究部門、構造生化学、抗加齢医学研究部、脳機能研究部、基礎系大学院本務、皮膚学、歯科口腔外科、細胞生物研究部、分子薬理学、生物物理学、人類遺伝学研究所、炎症・免疫研究部、細菌学、人体病理学、医薬物理学、小児科学、神経生理学。



自治医科大学ワークライフバランス講演会 企画推進部門



9月24日(土)地域医療情報研修センター中講堂で自治医科大学ワークライフバランス講演会が開催されました。今回のメインテーマは「豊かな人生はあなたの心の中にある」と題して、教職員、医学生、看護学生、医学部卒業生、看護学部卒業生を対象に開催されました。はじめに、徳倉康之先生(株)ファミリー代表取締役・NPO法人ファザーリング・ジャパン理事から「現在取り組み中のワークライフバランス」について、山元香代子先生(宮崎3期卒業) (認定特定非常勤法人ザンビアの辺地医療を支援する会副理事長)からは「ザンビアでの辺地巡回診療活動までの道のり」についてお話しいただきました。講演に続いて、小宮根真弓センター長を産長として、徳倉康之先生、山本香代子先生、佐田尚宏先生(自治医科大学附属病院院長)、小形幸代先生(自治医大卒、循環器内科)、手塚雄大君(自治医大財医学生)が参加してパネルディスカッションが行われ、活発な意見交換がありました。参加者して下さいの方々からはアンケートを通して、非常に興味深い話で参考になった、と多くの声が寄せられました。



救急蘇生講習会 育児支援部門

10・11月の4日間、メディカルシュミレーションセンターにおいて、保育ルーム「あいらず」サポーター会員さんを対象に、乳児・小児を重視した緊急時の蘇生法講習が行われました。情報センターの浅田義和先生に具体的な対応の仕方を教えていただきながら、人形を使って実践学びました。講習後のアンケートでは、和やかな雰囲気を受講しやすく、毎年行われる研修が復習にもなり緊急時の対応に自信がもてるとの感想をいただきました。

医師・研究者キャリア支援センター
内線：2448
mail: career-support@jichi.ac.jp

保育ルーム「あいらず」
内線：2445
直通：0285-58-7572

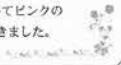
Jichi Joy Café 企画推進部門
(通称 JJC-ジジイカフェ)

11月22日(火)医師・研究者キャリア支援センター会議室で、第2回 Jichi Joy Café が開催されました。「女性医師・研究者の働き方」をテーマに、現在の職場での働き方と働きやすさについてまた、より働きやすくするためにどうしたらよいか、女性の医師(常勤、短時間常勤、ジュニアレジデント、シニアレジデント)・研究者(リサーチレジデント)・学生(医学生・大学院生)の方々の様々な立場での意見が出され、活発な情報交換が出来ました。会話と食事を楽しみながら、日頃の思いや悩みについて話し合いました。



サポーター会員懇話会 センター全体

12月1日(木)サポーター会員懇話会が開催されました。サポーター会員さんと他職員も含めて計27名が参加して、循環器内科小形幸代先生の「高血圧の予防～高血圧にならないための予防～」ご講演をお聞きし、塩分を控えた食生活の必要性と、生活習慣を見直していく事の大切さを教えていただきました。興味深いお話に皆さんが熱心に耳を傾け、質問している姿も見られました。講演の後は、食事を楽しみながら情報交換し、交流を深める良い機会となりました。また、日頃の感謝をこめてピンクの小さな花束をお持ち帰りいただきました。



子ども(幼児)の「パパ・ママと子どもの食事のはなし」パート7 育児支援部門
とちぎ食育元気プラン 2020 スタート ～幼児の食事を見直してみよう～

10月13日(木)「パパ・ママと子どもの食事のはなし」パート7が開催されました。講師の臨床栄養部栄養管理室長佐藤敬子先生からは、幼児や学童期の子どもたちの食事について、栄養バランスがとれた朝食を毎日とる事の大切さなど、スライドを見ながらご説明いただきました。また、栃木県食育推進計画に基づき食育の現状と課題や目標、培っていくための環境づくりなどを、ご自身のご経験も交えながら楽しくお話しいただきました。管理栄養士樋口千恵先生からは、苦手な野菜を克服するための「野菜たっぷりシチュー」のレシピをご紹介いただき、アットホームな雰囲気の中で、親子でご参加いただいたみなさんと一緒に、栄養面だけでなくカロリーや塩分摂取にも配慮されたお弁当をいただきながら、会話の中からも食育について考えることができました。



クリスマス会 育児支援部門

12月22日(木)保育ルーム「あいらず」でクリスマス会が開かれました。35名の方々が参加して下さり、南河内図書館ボランティア・あめんぼうの方々によるパネルシアターや保育士さん達によるマジックショー、そしてサンクさんからのプレゼントの後は、サポーター会員さんのキッズ演奏をお聴きしながらクリスマスケーキで会食となりました。盛り沢山の演じ物に、子供たちの目はキラキラと輝き、子供も大人も笑顔あふれる楽しいひと時を過ごしました。

《今後の予定》

次世代医師・研究者交流会 (次世代育成支援グループ)
メインテーマ「今後の日本や世界の医療政策の動向を知ることや世界に羽ばたくことの重要性」(予定)
日時：平成29年2月14日(土) 講演会 17:30～
会場：自治医科大学教育・研究棟講堂
演者：黒川清先生(白本医政政策機構代表理事、政策研究大学院大学客員教授、東京大学名誉教授)
Jichi Joy Café (企画推進部門)
2月開催予定
小児科医からV/P・ママに伝えたいこと (育児支援部門)
2月開催予定
オール自治プロジェクト (企画推進部門)
3月開催予定



医師・研究者キャリア支援センター活動報告書（2016）

平成 30 年 3 月（発行）

発行元 自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター

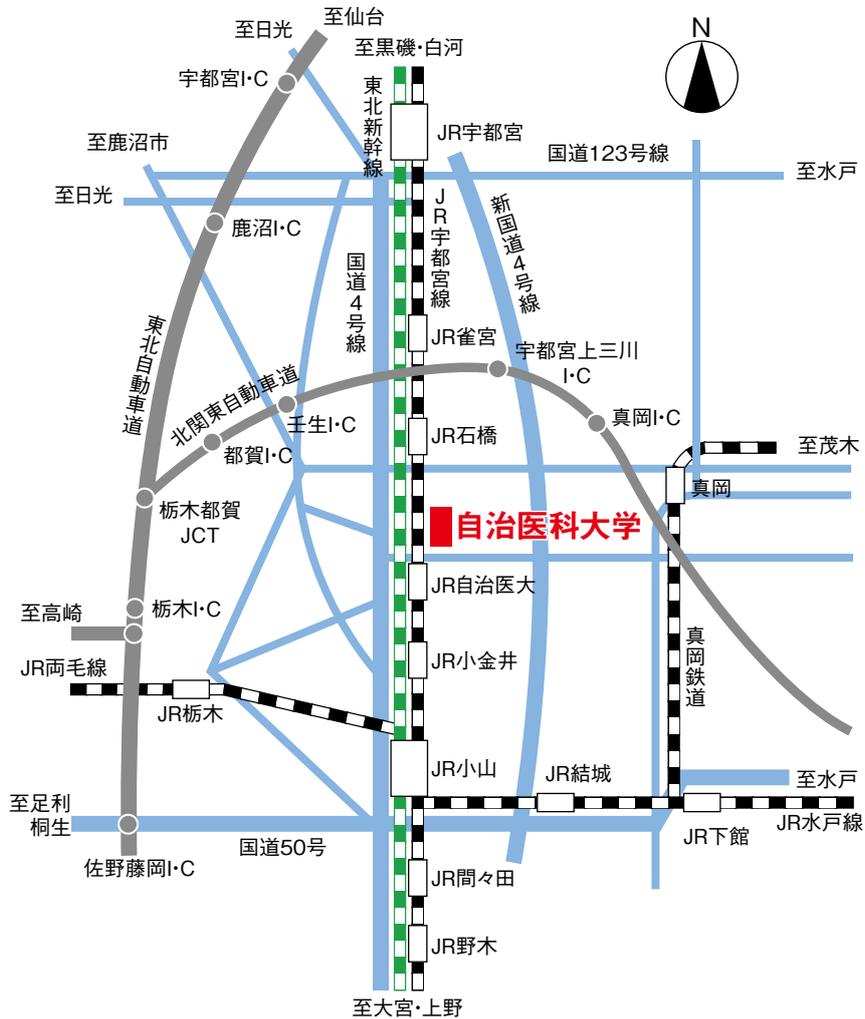
<連絡先>

T E L 0285-58-7561

F A X 0285-44-8627

career-support@jichi.ac.jp

アクセスマップ



JR自治医大駅より徒歩10分